

東京きらぼし FG が優先株を普株転換および償還一格付への影響は限定的

以下は、株式会社東京きらぼしフィナンシャルグループ（証券コード：7173）による第一種優先株式の普通株式への転換・消却、第二種優先株式の取得・消却についての株式会社日本格付研究所（JCR）の見解です。

■見解

- (1) 当社は、本日開催の取締役会において、第1回第一種優先株式（150億円）の普通株式への転換及び消却、第二種優先株式（400億円）の取得及び消却を決定した。第一種優先株式の転換等は、株式を保有する三井住友信託銀行の取得請求に基づき行われる。第二種優先株式の取得等は、当初の計画を前倒しで実施するもので、当社が考える「安定的な自己資本比率」の水準を上回る見込みであるためとしている。いずれも26年5月に実施予定である。
- (2) JCRは、当該優先株の資本性について、段階的に償還する方針などを踏まえ一定の掛目を入れて評価しており、グループ連結ベースの調整後コア資本比率は26/3期上半期末8%程度である。第二種優先株式については完済時期が早まるため、想定していた資本性の評価も前倒しとなり、資本水準を引き下げる方向に働く。一方、第一種優先株式について償還の方針から普通株式への転換に変更されたことは、資本水準を引き上げる方向に働く。一連の対応により調整後コア資本比率は0.6ポイント程度低下するが、当社は内部留保の積み上げやリスクアセットコントロールなどを進める方針としている。一定の資本水準は保たれるとみられ、格付への影響は限定的とJCRはみている。

(担当) 加藤 厚・木谷 道哉

【参考】

発行体：株式会社東京きらぼしフィナンシャルグループ

長期発行体格付：A- 見通し：安定的

発行体：株式会社きらぼし銀行

長期発行体格付：A- 見通し：安定的

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会が定めるNRSRO（Nationally Recognized Statistical Rating Organization）の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官（格付）第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル